

女子大生の衣服選択行動に関する調査

2019/7/10

A16CB046 A16CB047 A17CB011 A18CB731

問題・目的

安永・野口（2012）によると、服飾心理学の分野では、様々な年代の人々を対象に、着装に対する関心や意識、着装行動への心理社会的な動機、関連する個人的及び心理社会的要因などについて、検討がなされてきた。例えば、女子大生を対象にファッションの志向性と感度特性の関連を検討した研究では、感度特性の高い女子大生は、ファッションへの関心が高く、新しい流行被服を早期に採用し、服装に対して気配りをよくしている者の割合が多いことや、個性的でファッションナブルで派手な服装を好む傾向にあることなどが報告されている。そこで私たちは、中学、高校は制服で登校する学校が多かったが、大学は私服で行くようになるため、女子大生はファッションに興味があるのではないかと考えた。

そこで今回、私たちは以下の三つの事柄を調査することを目的とした。

- 1,女子大生が何を基準（金額、雑誌など）にして衣服の購入をするか。
- 2,女子大生のファッションにはどのような特徴があるか。
- 3,女子大生が何を基準にして衣服のコーディネートを決めるか。

これらについて質問紙調査と半構造化面接を実施し検討をしていく。

方法

日時：令和1年5月8日11時15分から12時、令和1年5月15日11時2分から11時28分、令和1年5月22日11時から11時12分

場所：椋山女学園大学日進キャンパス 5-210 教室

研究協力者：ケースⅢ（安立）の受講者10名（A～J）20歳～27歳（平均年齢21.8歳）

調査方法：協力者に対し調査者らは面接法を用いて、

質問は以下の通りである。

1. お洒落に興味がありますか。
2. 月にファッション雑誌を何冊買いますか。
3. 洋服に1か月あたりおよそいくらかけますか。
4. 「ファッションのどんなところにこだわっていますか」
 - 4-1) 毎回同じ店で買っていますか。
 - 4-2) シチュエーション（出かける場所）によって洋服を変えますか。

- 4-3)洋服を買うときは一人で選びますか、それとも他者と決めますか。
- 4-4)他の人と服が被ってしまっても良いですか。
- 5. 服装の系統やイメージは決まっていますか。
- 6. 外出する際、どんなところに気を付けていますか。

分析：各質問項目に対し分節化し、KJ法を用いてカテゴリー化した。その際に、各質問の答えを小さな紙に印刷し、ラベルとして質問ごとにカテゴリーに分け、模造紙に貼り付けた。分類は調査者4名の合議により行った。

結果

表1.お洒落に興味があるか

カテゴリー	研究協力者の語り
楽しさ	ワクワクするところが好き(H)
	好きな恰好をするとテンションがあがる(J)
	お洒落をすると気持ちが明るくなるから(C)
	着たい服と似合う服を知ることが楽しい(A)
こだわり	自分に似合った服を探したい(A)
	可愛い恰好をしたいから(I)
他者からの目線	綺麗にしておいた方が良かなと思う(B)
	服装だけでも綺麗によく見せようと思う(F)
	お洒落をしたいというより外に出て恥ずかしくないように(J)
	人からどう見られているか気にしちゃうタイプ(F)
	可愛い服と思っても自分には似合わないと思う(B)
	人前に入るのに恥ずかしくないように(G)
興味なし	自分の見た目に自信がないから(B)
	特にこだわりがない(D)

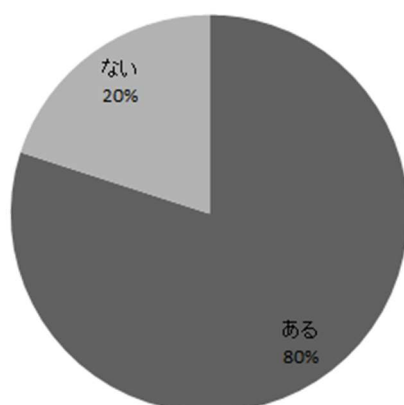


図1. お洒落に興味があるか(N=10)

お洒落に興味があると答えた人数は8人、ないと答えた人は2人であった。

さらに興味があると答えた人の理由は、お洒落をすると楽しい気持ちになるからや、自分に合った服を探したい、他者からよく見られたいという理由が多かった。また、興味がないと答えた人の理由はとくにこだわりがないからや、自分の見た目に自信がないため興味がないという理由であった。

表2.月にファッション雑誌を何冊買うか

カテゴリー	研究協力者の語り
付録	付録が良いなと思ったときは買う(A)
	カバン、トートバッグ(A)
昔は買っていた	1年前は1冊買っていた(H)
	昔は買っていたけれど今はゼロ(A)

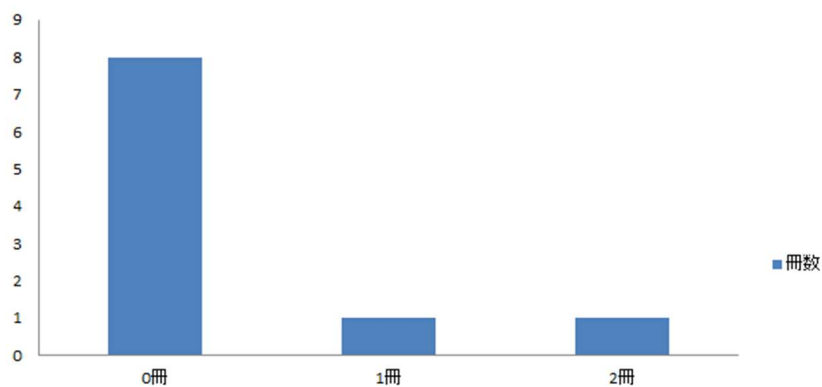


図2. 月にファッション雑誌を何冊買うか (N=10)

月にファッション雑誌を何冊買うかの問いに関しては0冊が8人、1冊と2冊がそれぞれ1人ずつであった。3冊以上購入している人はいなかった。

買う理由について付録がついているときには買うが、毎月は買わないや、昔は買っていたという意見があった。

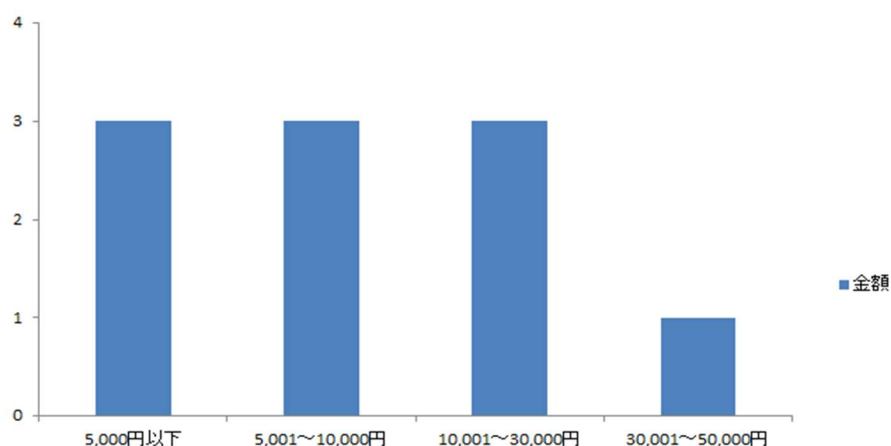


図3. 洋服に1か月あたりおよそいくらかけるか(N=10)

洋服に1か月あたりおよそいくらかけるかの問いは、5000円以下、5001~10000円、10001~30000円が3人ずつであった。30,001~50000円は1人だった。50001円以上と答えた人はいなかった。

表3. 毎回同じ店で買っているか

カテゴリー	研究協力者の語り
好み	系統も好み(A)
	服が好き(H)
	そのお店の服の作りが良いなと思うところへ(A)
	そのお店が気に入ってるから(H)
	可愛いと思う店(I)
	大人っぽく見せたいと思っているところ(E)
特定のお店に行く	だいたい決まっている(A)
	3店くらい買う店がある(F)
	5つくらいの店がある(C)
	GU,ユニクロ(D)
他者からの目線	大人っぽく見せたいと思っているところ(E)
気にしない	(C) 場所を選ばない(J)
こだわり	こういう服は嫌と思う服装はある(B)
自分では決めない	自分では買わない親が買ったもの(B)
その他	生活する上で苦しくない歩きにくいなど無理のない 恰好をする(J)
	シンプルな服装(J)
	ダサく見えないように(I)

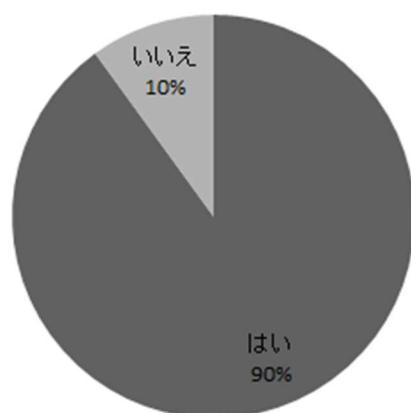


図4. 毎回同じ店で買っているか(N=10)

毎回同じ店で買っていると答えた人は9人であった。いいえと答えた人は1人であった。同じ店で買う理由は好みの服がある、数店ある、大人っぽく見せたいという他者から見られたい自分のイメージなどの意見があった。いいえと答えた人は自分では決めないという意見があった。

表4.シチュエーションによって洋服を変えるか

カテゴリー	研究協力者の語り
TPO	会う人、場所による(A)
	バイトにあった服装(H)
	バイト以外は好きな服装(H)
	大学には好きな服装(C)
	目上の人に会うときは大人っぽい服装(C)
	学校に行くときは乾きやすい服装(B)
	親と出かけるとき地味な服(B)
	動きやすいほうがいいとき動きやすい服装(I)
	電車に乗るときジャージだと恥ずかしい(A)
	塾のアルバイトなら落ち着いた色(C)
	学校はラフ、食事会や友人に会うときお洒落に(F)
	サークルに適した格好(A)
	行く店の雰囲気に合わせて(E)
その他	特に変わらない(D)

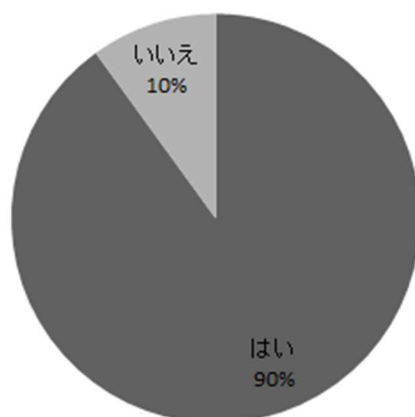


図5. シチュエーション(出かける場所)によって洋服を変えるか(N=10)

シチュエーション(出かける場所)によって洋服を変えると答えた人数は9人、変えないと答えた人数は1人であった。

TPOに応じて動きやすい服を着る、という意見が多かった。特に変わらないという意見もあった。

表5. 買うとき自分ひとりか他者に決めてもらうか

大カテゴリー	小カテゴリー	研究協力者の語り
他者	他者からのアドバイス	母親と行く(H)
		自分のことをよくわかっている母、友人に聞く(C)
		本当のことを言ってくれる親や仲のいい友人だったらいい(J)
		他の人の意見も聞きたい(I)
		自分に合う服がわからなくてきめてもらう(B)
		似合うといわれた服を買う(C)
自分	ひとりで決める	自分のペースで選びたい(G)
		自分で決めたい(D)
		ひとりで買い物したほうが楽(F)
		友人に気を遣ってしまう(E)
		他者につきあわせるのは気を遣う(J)
		友人といると長時間選び辛い(E)
	こだわり	試着しない(H)
		悩む時間がほしい(J)
		店員には聞かない(C)
		周りに意見をもらっても最終決めるのは自分(A)
		大人かわいい系統(A)

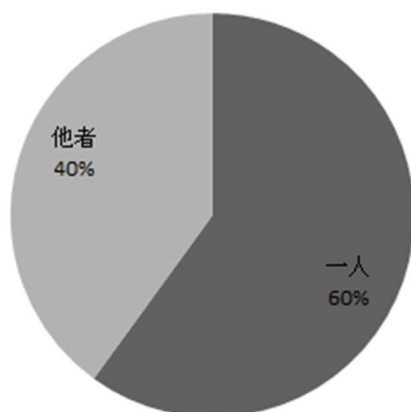


図6. 洋服を買うときは一人で選ぶかそれとも他者と決めるか (N=10)

洋服を買うときは1人で選ぶと答えた人数は6人、他者と決めると答えた人数は4人であった。

一人で選ぶ人は友人に気を使ってしまうや、自分のペースで選びたいなどの意見があった。他者と決める人は自分に合う服がわからないので決めてもらう、親や仲の良い友人など本当のことを言ってくれる人なら聞くなどの意見があった。

表6.他の人と服が被ってしまっても良いですか

カテゴリー	研究協力者の語り
気にならない	系統が一緒だなくらいに思う(E)
	特に被っても気にしない(F)
	気にしない(D)
条件によるけど基本気にしない	知り合い、綺麗な人なら良い(C)
	被り方にもよるけれど、大丈夫。(気にしない)(A)
	変わった服を着たときは恥ずかしいけれど、それ以外は平気(A)
	基本は気にならないが、自分が気合を入れたとき上から下まで被るのはイヤ(J)
気にする	恥ずかしいと思うから(B)
	気まずい(H)
	知らない人は嫌(C)
	すごくほしくてやっと買ったものが一緒だとショック(C)

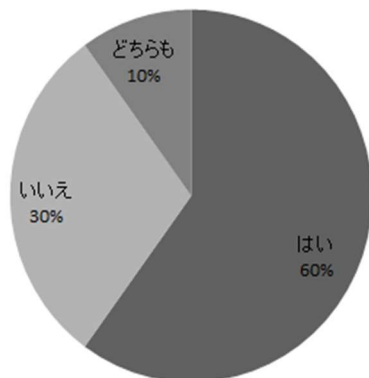


図7. 他の人と服が被ってしまっても良いか(N=10)

ほかの人と服が被ってしまっても良いと答えた人数は6人、どちらともいえないと答えた人数は1人、いいえと答えた人数は3人であった。

被ってしまってもいいと答えた人は系統が一緒だなくらいに思うや、気にしないという意見があった。どちらともいえないと答えた人は知り合い、綺麗な人ならいいけど被り方にもよる、変わった服を着たときは気になるといった条件によっては気になるといった意見があった。気にすると答えた人は被って恥ずかしいと思うや、気まずいと思うなどの意見があった。

表7. 服装の系統やイメージは決まっているか

大カテゴリー	小カテゴリー	研究協力者の語り
こだわり		好きなお店がある(A)
		だいたい決まっている(H)
		自分が良いと思うものを着てる(G)
		自分がお金を出したくない服は嫌(J)
		ハイネック、襟付きが好き(A)
系統	シンプル	シンプルな服装である(E)
		派手な色や形、柄の物は選ばないようにしている(E)
		シンプルな服装がよい(J)
	カジュアル	シンプルでカジュアル(F)
		カジュアル系が多い(D)
	フェミニン	フェミニン系(C)
	可愛い系(A)	
実用性		今は、実用性重視(A)
		昔はワンピースが好きでよく着ていた(A)
		スカート履かなくなった(A)
		パンツスタイル(A)
		こどもと(が)走るから(A)
色		汚れても目立たないので、黒い服を選びがち(D)
		色が重視(A)
		好きな色なので、黒い服を選びがち(D)
イメージ		あまり記憶に残らない服(B)
		目立ちたくないから地味なもの(B)
		関わりやすいと思われる、柔らかめのイメージ(C)
		誰が見ても怖い印象を与えないようなイメージ(C)
		着たくない系統のイメージはある(J)
その他		母親らしさ(A)
		特になし(G)

服装の系統やイメージが決まっているかの問いにはこだわりがあり、系統が大体決まっている人や、実用性を重視している人、好きな色で選んで決めるや、逆に着たくない系統のイメージがあるなどの意見があった。

表8.外出する際どんなところに気をつけていますか

カテゴリー	研究協力者の語り
気温	暑そうなときは涼しい色を着る(H)
	気温(G)
日焼け防止	日焼けしないように暑くても長袖のカーディガンを着る(G)
	日焼け防止の為に長袖を着るようにしている(D)
TPO	TPO(身体を動かすのに動かしやすいなど相手とシチュエーションによる)(J)
	場所にあった服を着る(I)
	場所を選ばない服にしている所(I)
	子ども→ズボンを履く(遊ぶため)(A)
	学校→通学に2.5時間かかるのでズボン、ロングスカート を履く(A)
友人→スカート履く(A)	
靴ずれ	靴ずれしない靴(J)
	靴ずれしないよう(G)
こだわり	露出が少ない服(B)
	一緒に行く人と似た系統の服を着る(I)
	皺が無いか(F)
	服に汚れが付いていないか(F)

外出する際にどんなところに気を付けているかについては気温で暑そうなときは涼しい色を着るや、日焼けしないようにカーディガンを羽織る、自分のこだわりで露出が少ない服や、汚れのない服、場所を選ばない服、TPOに合わせるなどの意見があった。

表9.ファッションのどんなところにこだわっていますか

カテゴリー	研究協力者の語り
直感	その時にかわいいと思ったものを買う(H)
トレンドは気にしない	新作にはとびつかない(H)
	今のトレンドや流行にあまり気をとられないようにしている(J)
服を決めるときにLINEとauのラッキーカラー占いをみて決める	迷わないため(A)
	楽に決められる(A)
色	持っていない色を買おうとする(H)

考察

「お洒落に興味がありますか」という質問に対して、興味があると答えた人が8人おり、

その理由としては「お洒落をすると気持ちが明るくなる」や「自分に似合った服を探したい」など楽しさやこだわりが挙げられた。これは、最初に立てた「中学、高校は制服で登校する学校が多かったが、大学は私服で行くようになるため、女子大生はファッションに興味があるのではないか」という仮説が立証されたと言える。

また「毎回同じ店で買っていますか」という質問や「シチュエーション（出かける場所）によって洋服を変えますか」という質問では「はい」と答える人が90%と高い結果であったことから、女子大生のファッションへのこだわりは強いのではないかと考える。

今回の調査の改善点としては、「月にファッション雑誌を何冊買うか」の質問で0冊と答えた人が10人中8人であり、予想以上にファッション雑誌を買わないと答えた人が多い結果であった。何故買わないのか、また雑誌は買わないが電子媒体で買う人もいるのではないかとこの可能性から、質問紙調査法と面接法を上手く併用できたのではないかと考える。

参考文献・引用文献

前田亜紀子・野口愛 衣服選択における意識と実態に関する調査研究 群馬大学教育学部
紀要 芸術・技術・体育・生活科学編 第49巻 193—198頁 (2014)